

# あきやま子どもクリニックニュース2021年11月号

9月に二人目の孫が生まれ、10月に里帰りで我が家に1か月ほど滞在しました。その時に長男の赤ちゃん返りを目のあたりにし、心のケアの大切さを実感しました。また、ママとの関係が微妙に変化し、大人が気を付けるべきことにも気づくことができました。乳幼児健診などの機会に伝えていきたいと思います。



## 院長より

「自動身長体重計測機」



## 最近の流行っている病気

診察室の入り口に自動で身長と体重が測れる機器を購入しました。園や学校で測定されていますが、当院でも定期的に測定して、お子様達の順調な成長を記録していきたいと思います。カルテに成長曲線が保存されていきますので、ご一緒に確認したいと思います。時に、心理的な影響が身長・体重に表れることがあります。

嘔吐・下痢症が流行しています。また発熱と咳がでる風邪もあります。

感染症として、突発性発疹、手足口病、溶連菌感染症がみられています。

## Mama&Baby



先日、ママベビを卒業生がパパと三人でお散歩中に私を見つけ声をかけてくれました。ママとパパへの挨拶の後すっかり大きくなった彼に声を掛けると、ベビーカーの中でじっと見つめながら両足を激しくばたつかせ、まるで返事をしてきているようでした。ママと近況を話し、笑顔でまたねと手を振りその場を離れました。卒業しても切れない縁に感謝し、これからも多くのママたちとしっかりかかわっていかれたらと思っています

(文責 松本光子)

## 訪問看護ステーション

最近始まった訪問がありました。初めての訪問の日は、ご家族の疲れが見て取れました。子ども達が生まれて初めて家に帰ってくる事は、とってもうれしい反面、生活に必要な細かな変化に対応することが慣れないため、とても疲れます。どの訪問のご家庭でも初めはそうだったなど、思い返します。2回目、3回目と訪問させていただくたびに、ご家族の笑顔も多く見られてくると、大丈夫そうだなと感じられ安心しています。

(文責 梅田可愛)

## 病児保育室便り



病児保育室を利用するお子さんは、普段別々の保育園や幼稚園、小学校に通っていて、年齢も違うことが多いです。けれど、時々同じ保育園のお友達と一緒にすることがあります。他園のお友達同士でも、仲良く遊ぶ姿は見られますが、普段一緒に過ごしているお子さん同士では、仲良く遊んでいる一方、知っているからこそ、おもちゃの取り合いが多くなる事があります。異年齢のお子さん同士では、大きい子が小さい子のお世話を自然してくれている姿が見られます。先日でも、朝タクシーから部屋に移動する際、6才の女の子が「こっちだよ。」と優しく手を繋いで歩いてくれました。その後も、一緒に遊んでくれて、2才のお子さんも安心して過ごしていました。とても、素敵な姿でした。

(文責 千葉美香)

インフルエンザ予防接種  
接種は10月から開始しています  
予約については、ホームページをご覧ください。



## 今月の代診と休診

8日(月) 午後診療 宗像先生



水曜日午後診療は宗像先生です。  
木曜日の早朝・午前診療は濱野先生です。  
木曜日の午後診療は宗像先生です。

年末年始は12月28日午後より、1月5日まで。  
1月6日より通常通りです。